新光ソーラーパーク(第一期)稼動



当社の北勢工場付近の三重県いなべ市に総面 積約 20,000 ㎡を使用し、1.75 メガワットのソーラ 一発電事業を開始しました。

今後、当社の収益と共に、地元や環境にも貢献していく予定です。

事業者:新光ゴム工業株式会社

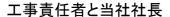
発電量:1.75Mw(一般家庭600世帯分

の電力を供給可能)

パネル枚数:8010枚

(パネル出力2002. 5kw)







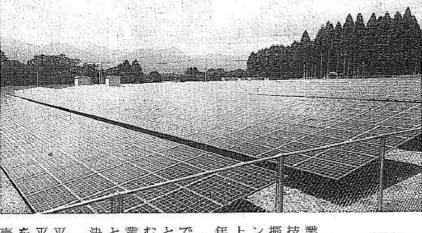
電力連結開始

-発電を開始するに当たり、日本経済新聞、中部経済新聞に取り上げていただきました。

(下記は中部経済新聞:2014/9/10)

あすから売電を開始する、

いなべ市の遊休地活用



する約6万平方以の遊休地を活用する。すでに太陽光パネルを設置済 電による売電事業に参入する。工場拡張用地として、いなべ市に保有 三番町、林剛石社長、 刀工場を移転し自社発電で工場を稼働させる方針だ。 れば1年後にもすべての用地を利用する。20年の買取期間終了後、主 自動車部品用ゴム製品製造業の新光ゴム工業(本社名古屋市熱田区 11日から第1期の売電を始める。第2期も計画しており、早け 電話052・661・6236) は、太陽光発 (大蔵敦生)



年11月期)。 上げは約4億円(2013 技術を生かし、エンジンの で現地調達を高めているこ **動を抑えるエンジンマウ** ントなどが主力製品。 売り 林社長は「取引先が海外 同社は1951年の創 ゴムと金属を接着する

とから、国内生産が伸び悩 む」と判断。自動車部品事 として売電事業への参入を 禿に次ぐ、新たな収益事業

東京UFJ銀行などから資 総投資額は約6億円。三菱 げは年8千万円を見込む。 金調達した。

定した収益を確保すること 林社長は「売電事業で安 主力工場である北勢工場 自社発電工場として構想を 電力料金の高騰を見据え、 (いなべ市)を移転。今後の

本業である自動車部品

新光ゴム

一安定収益の確保

ゆを計画している。 パネルを設置。出力は2が 第2期は、残りの用地に

を高めたい」と話した。 事業に積極投資し、競争力 ノマウントなどゴム製品の 置取期間終了後、エンジ

平方がのうち、約2万3千 を設置。出力は1・75がつ。 電価格は40円で、売り上 第1期は、遊休地約6万